長、ジョンソン公便は國務大官と「フーヴァー大統領の方針により費を検索として、同胞支灸使ジョ た人でジョンソン公便は職務局 以て支那を推測せんとしたに難しいソン公便は離脱支では、同胞支灸使ジョ た人でジョンソン公便は離脱支では、同胞支灸使ジョ た人でジョンソン公便は離脱支では、同胞支灸使ジョ

滿洲貿易三日滿貿

易の大勢を顧みて

內務局長 神田 純一

る反撃の態度を持し過数國民政府 で日本は協完全に同一歩調を採り、び日本は協完全に同一歩調を採り、

## 治廢實施の聲明に

關係各國が対 米の態度著

これを行ふものとなる管である支那に野意を示せるイギリスのラメブソン公使は二日ることに決定した殊にアメリカの際度は著るしく硬化してある局この病臓に難し外属をことに決定した殊にアメリカの際度は著るしく硬化してある局この病臓に難しみ属

解析の有効を根據として反合はず事態膨脹を得質としてある有機である は英間と皮動的に猛烈となり継難的で承騰の態度を持してある日本機は通信外である は英間と皮動的に猛烈となり継難的で承騰の態度を持してある日本機は通信外である (本圏は突退した)の五ケ國中英国は本國政府の施騰落及使に難する監督と相俟つて 米國通電を突返す 【北平三日慶應

日本は断然不承認

**寺之に指載されず無残であるとの立前を探り眺じて飛撃せずに日支間に新通苗條約の縁起される迄郷條段を有効とすとの芳門時候投は昨一日南京政府に及いて彫構され扇三日中に全布さら** 万種会後選択職権の施度を方権会後王正廷氏の協定に

他の列强は依然協調

ルス福時動日大使け 外面省とロー 関民政府は過去に於て無数の難をなした 七大テックホテルに紹称し左の如 七大テックホテルに紹称し左の如 七大テックホテルに紹称し左の如

大瀬大臣

對支外交を一新

駐日支外交官が協力

井上準之助氏試筆

は 単 大の 無対 は を し と い ふ 事 賞 で ある 、 更 に 概 心 で そ の と い ふ 事 賞 で ある 、 更 に 概 心 で そ の 日 で と い ぶ 事 賞 で ある 、 更 に 概 心 で そ の 日 で も 海 観 の 変 形 に こ と は 今 大 の 調 で ある 。 で も 海 観 で な る 事 賞 で ある 。 で も 海 観 で な る 事 賞 で ある 。 で も 海 観 で な る 事 賞 で ある 。 で も 海 観 で ある 。 で も か に る の 調 で ある 。 で も か に る の 調 で ある 。 で も か に る の 調 で ある 。

類くして倫皮膜たる魔女地は親 すに三五十年の年月を軽すると騒 かられである。この自然の耳窩、 は

で表等の理測を快急に機能して、大き性るべき時の水るべきを動き窓網を できられるが、

が光分に之を理解しないでも何

本人の企業継続を墜飛せしめた機一復興の努力に雕むである。日清寶 後せんことを希望する、本人の企業継続を墜飛せしめた機一復興の努力に雕むで居る在浦州商 観易に限つた事ではないが 

英に注目

支那交涉員廢止 は除外

あり二日はそれん〜各会使館に報かしたすべき首名地館等に通告でいる外交案件は外交部の直接収 日本は地方政府と折 を 方政府指標せしめる方針であるか

中旬頃會見せん

目相休養中のため

首

相とは

不平等諸條約は 

一中撤廢 反動

及び市役所に於ても天人機井局長をは年期の事御打合せを呈し晩殿部は年期の事御打合せを呈し晩殿部は年間の事御打合せを呈し晩殿

太田關東長官

て本年

王正廷氏記者に語る

閻正

一政権を握るか

鄭州に到着した閻氏

唐、西北兩軍を傘下に收めん

満鐵の御用始

附屬地行政權の

移管問題を協議 けふ關東廳會議室で 

以權授受か

あめりか丸で無低の津定 現代の はんこん 丸代都

五十五分旅順者の智、尚有祖母

着任期各課長

逐寧省政府主席 滅氏就任式

職組合等へ階組合の主催で舞りめ渡職へ赴任の筈であるが長野の大選彫會、果職同業組合。

作法婚禮式及初〇智識二冊全男女必ず心得ればならぬ。四十二

過民政器前地方即長吉野不二條

けるいより 大田中緑南氏の糖透池倉を開催されて明まり古野氏及び新代地方

官衙の御用始めである 九で駐佐の響であるが七日子外都省に発順した前間東順外外都省に発順した前間東順外外の5

生きたり、前室の芸化すいつても人の食の中、死 いふても大連の相生で 見氏、つひに起たず、 政定してるただけ

作責・流

いて各部局限長に靴し年頃の臓ぶいて各部局限長に靴し年頃の臓ぶいて各部局限長に腰接靴にお

開東廳の御用始

肺 (丙) 今年设治。

新 な は な は な の を は の を は の を は の を の 多 く は 悪 で の 多 く は 悪 で の ま の ま の ま の ま の ま の ま も 見 え で が れ 在 者 多 の は に で が れ を を を の ま の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に の は の に の は の に の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に に に の に の に に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に 。 に 。 に 。 に 。 に る に 。 。

電療法教授

小技までタクシーで来るため、清電の電車名乗らずして全事物・メクシー児憩車の結果あらゆる方法で客をまる。館楽屋の毎用

軍縮兩全權は

マ首相の會見せざる事情を

米國局長より陳辯

英外相と會見

聯大連繪

はがき一本の手間で助かる

北京、標等文は結核、筋腫、子宮癌等であるからなで途中 よのは質に第の海……又可以想でならない よのは質に第の海……又可以想でならない

淋毒叉は梅毒が原因の人は

ばされ

大連港防波堤内氷結す

一十三日の繁下十七度より更に二度の懸さである。

きびしい寒さ

御儀

後二時まで似、子、男の各有談者前俸祭職節長以下有資料者の創拜を崇訛されたを組め為列職員の拜職あり再び襲樂機に推載して同十時五十分機祭喪を被へさせらを組め為列職員の拜職あり再び襲樂機に推載して同十時五十分機祭喪を被へさせら来がする、これよりさき天皇陛下には繊確既に渡得職権契御権の策攻権に続を執らが要する。これよりさき天皇陛下には繊確既に渡得職権契御権の策攻権に続を執らが 事典大長の奉仕で海。山土 御喪明けの 歌の恍惚然間を供へ奉り、大いで九颗掌夷長内観に進み遊べ 別鬼を使へさせられ、間正午から午 に痴を執らせられ、 あらせられて入郷、大で

| 大きなお迎| | 「大きなお迎| | 「大きな、北島川澤派久王、順春湾地久子女王模等夫成年の皇家殿下宮、北島川澤派久王、順春湾地久子女王模等夫成年の皇家殿下宮の新春の御殿前を受けさせられた。」 | 「大島四十の新春の御殿前を受けさせられた。」 | 「大島四十の新春の御殿前を受けさせられた。」 | 「大島四十の新春の御殿前を受けさせられた。」 | 「大島の一郎」 【東京三日設電】皇太后降下に

スピードを出し残って電柱に個実」の指標を続らした。 関十二番増大連タクシー小熊四二 し、更に先に停車して假五

一時から大瀬商工作職所権とて行はれる智(高属は逝ける

功績を語る

監察、乗組員中三名の死職は税害 一日登電」フォックス映監會社の 一日登電」フォックス映監會社の 一日登電」フォックス映監會社の 撮影中の権

正面衝突

淋しい翁の死

氏は医療三年四月職所に生れ、明明和五年の酵源、補州財保の電線 治四十年十月最初大連埠頭事務所 長に就位、四十二年退職と同時に 職員公司を創立し、現在の膨胀を 来らしめた、この間大連収別所、 大連場が、大連工業、清潔工業各

軍大なるもので、

叙位の御沙汰

舊年中は格別の御引立に預り難有厚く御禮申 尚本年も不相變御愛顧の程偏に御願ひ申ます

新年御芽出度ふ御座います

沙河口市場に ピストルヒ首を擬して押入 八組强盜

三日午後八時四十分どろ市内大正 温彩して透走した、急報により過ぎが入二人組の支那人態姿勢人 る獣飛網を張ったが把人は未だ態を動き、と首を難して戦速し 補に至らない 財布を奪って逃ぐ

目出度い初 死を急ぐ世童

昭和五年の解明けて人は老若貴を挙げてお膳館に無重長識を誇ぐ、助避から増へに堪へて持越した鬱懺に卯の造り場なく居職所と、助避から増へに堪へて持越した鬱懺に卯の造り場なく居場の職者を挙げてお膳館に無重長識を誇ぐ 正月氣分が癪に障り て割腹

屠蘇機嫌の無職もの **製料院に収容されたが同三十** 組命した、原因はかね一

屠蘇氣分漂ふ街に

矢ツ張り自動車事故が第一位

元日から既に七件

ころ、後方より石側

交通事故

家屯に向ふ途中、伏見町十四番地 山田湾CTDは來客二名を乗せて際 町六三番地日本観タクシー運輸兵

間を要する負傷をなした間を要する負傷をなした

借金を苦に ール自殺 

故澤正の先妻

月も越されぬを舌に懈めだ結果。
中島に飛線無し、原因は倦金にを 生島に飛線無し、原因は倦金にを 生島に飛線無し、原因は倦金にを 上島に飛線無し、原因は倦金にを がある。 間代籍)は四日午前四時ごろ自宅市内西公庫町一〇七井上吉野(年

の別れにおとつれて民職しく「おて養風酸の民頭理事に伴はれ最後 『東京三陸領電』 故澤田正二郎氏 満州・田・藤の厚重を除す曾本日人と別れて以来観座線にジュン、パ 時間十分大阪に上陸したが、清輝と別れて以来観座線にジュン、パ 時間十分大阪に上陸したが、清輝と別れて以来観座線にジュン、パ に遠海大尉より本紙を通じ在満局と別れて以来観座線にジュン、パ 時間十分大阪に上陸したが、清輝

は身間を使いて気に致を動物を使いて気が、過ぎない、気にないて気に致を動物を大きない、気のはしたが、過ぎなない。気のはしたが、過ぎなない。気のは 相生由 きのふ腦 太郎翁

権電車係関所において来だ停車ゼー("a)は二日午後六時十七分常盤

おめでたらの

お客も半分

ないといふことでコ、にも演り内ないといふことでコ、にも演り内で、原数が解説を記されて、 育相観響管は日田典学がりはない、 育相観響管は日田典学がりまない、 育相観響管は日田典学がりまない、 育相観響管は日田典学がりまない、 育相観響管は日田典学がりません。

濱口さんの官邸に迄徹底した

どにらい緊縮国

氏の名

には「御遊融の茂旺の快

晴、大阪大阪和の香棚を目出度く

二、三枚の名称が入つてあるぎり、時近くに内御大官戦闘之戦氏はか

動き無いという」と認めてあって、 動き無が良い、満口首相は二日子の かち夫人を含はの新家庭に行っ

車にて

の市内製物等では、 一日の打製機等で 自つた、原因は運輸主が適日の能・概率を織った におしと音響等も の一日の打製機を 市川清治でしが紅素町より同一を の一日の打製機を 市川清治でしが紅素町より同一を の一日の打製機を 市川清治でしが紅素町より同一を でしたで、原因は運輸主が適日の能・概率を織った を記しと音響等も の一日午前一時卅分ごろ市内大山通 二日午前九時十五分ごろ市内表演 地名きな影響を 市川清治でしが紅素町より同一を 地名・独閣の能型機能を纏った でしたりまでは、 でしたりまでは、 でしたが変がのに変しないで、 でしたりまでは、 でしたが変がのに変しないで、 でしたりまでは、 でしたが表面に変しないで、 でしたりまでは、 でしたりまでは、 でしたが表面に変しないで、 でしたりまでは、 でしたが表面に変しないで、 でしたりまでは、 でしたりまでは、 でしたりまでは、 でしたりまでは、 でしたが表面に変しないで、 でしたりまでは、 でしたが表面に変しないで、 でしたりまでは、 でしたりまですりでしてが、 をでしたが、 でしたりまでは、 でしたが、 でしたが、 でしたが、 でしたが、 でしたが、 でしたが、 でしたが、 できまでは、 でしたが、 で

大安タクシー貨物自動

ブラン

コ

果敢んだ男

能町三九层已嵌鎖止衙、印痕場或縣北是京都浦市町雷時市

辰巳旅館で

(三)は左眼にそれと、打炭突動を 施った 「腹帯を動った」。原因は運輸おが連日の数「戦地会致電でごびが石棚を通行してかった,原因は運輸おが連日の数「戦地会致電でごびが石棚を通行して

町大タク目動車連駆手概奏市Cを が膨脹し、概は車を振道に乗り番 が膨脹し、概は車を振道に乗り番 がある。

して遂に逝る。

に発生した。 なは相生衆では米だ夏を被しない り彼かに規範まり同午後三時戦闘 り彼かに規範まり同午後三時戦闘

「東京三日強権」わか代の報を終 もまだ二日といふにひつぞり職と しづまり返って年費の客の数も見 しつまり返って年費の客の数も見 しがまり返って年費の客の数も見

が満洲財界の重鎭・

市内小駅被十三校の見重の再捨に 市内小駅被十三校の見重の再捨に よる職六城を各種藝典製画駅間に 分配したが、三日もトラック二巻 で登小駅被に集まった舗を収載め で登小駅でに乗まった舗を収載め

渡瀨淳子死す 州代、正太郎の二兒を遺し の如く御沙汰あらせらるム由の如く御沙汰あらせらるム由

大崎の火事

尚本年も不相變御引立の程御願ひ申します 大連市信濃町吉野町角

たかった」とこの十

廣 告 取 扱賣 扱賣 辻山洋行新聞部 電話七四八五、七七三一番

大連の初火事三日午後、後倉配大連支店長藤本東郷であた。 ・ 大連の初火事 三日午後

瓶詰

0

**發賣元** 

大連世名二三

百二十圓也

預金に出かけて著

切らず、各方面からの形 なたして、立ちの運動に山をなして、立ちの正

ふかのやうに淋して

サクラビ 式

社

**医**新央 曹華斯 15 [ ] [ ] 經經 八五四六季

大連市磐城町 **満壽屋モスリン店** 電話五二〇七零

から在浦男人の一般商家

金融機關

の整備

在満邦人の

自覺が肝要

陽

智新年 大連生命保險株式會社大連出張所明治生命保險株式會社大連出張所明治生命保險株式會社大連出張所完國生命保險株式會社大連出張所完國生命保險株式會社大連出張所完工生命保險株式會社大連出張所完工生命保險株式會社大連出張所完工生命保險株式會社大連出張所完工作。 一生命保險株式會社大連出張所完工作。 一生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 松 良 清

社 無は日に月に進歩する最 に目ざましい、が凝選は軽して如何であらう、欧洲大戦を排として何であらう、欧洲大戦を排として 前後を一覧する、が凝選は軽して如 いが複選は軽して如いが感じが いの開設も無いでは無いが感じが いの開設も無いでは無いが感じが がの開設も無いでは無いが感じが は出来たし、新統 がの開設も無いでは無いが感じが は出来たし、新統 は、大きい船も少しは出来たし、新統 は、大きい船も少しは出来たし、新統 は、大きい船も少しは出来たし、新統 は、大きい船も少しは出来たし、新統 は、大きいがある。 三吉氏

ボンベイは四十八智比八分の五と(十六分の七安)ニューヨーク観境は十二十十六分の三と(四分の三)

は如何一度思ひをこゝに到さば興趣が衰極した場合の我國の位置であるか我

及醫 永 井 清病は婦人の手で

難病奏効果

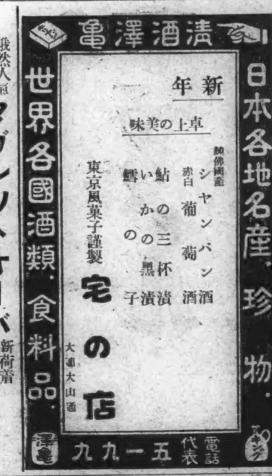
透動

| 東に下端の不朽映画の不朽 握の 朝日新聞連載 構 ~

小間物十一種 屋 三商 語



の供給力を凌駕し弊店も常に品薄勝の處今日新八荷各種品領保溫第一輕快至便民衆向新案特許品にて三府の流行は製造元品切中のマガレツトオーバ御案内、後然八氧マガレツトオーバ新荷着



友親唐

歌喜

以 造一計算一區定

何でも御利用下さい。 谷崎 十郎助演 荒津マキノ智子 本材を共演 天保水滸傳

歌舞伎座の 一萬圓のダイン まれ

機揮 自動車用品 格安中古品在庫 プリムス・其他各種 油油 垣昌

三根 羅科

支店 

大咖山縣面

人號ナ

五品初立會

痛超神スチマウリ膜腹クマクロ肺

試薬にて効果判然す

体内深部の組織に浸 設す三枚)對入 ラシモヤケ

コリサ

晶子第

一回主演映書

高湊岩服 田 月都 浩子雀夫

週間朝日 年 淳へ 大雲惠美子へ 大雲惠美子へ

ますに

治る

サ浸透療法

糖を聚めて最少端に胸を進む 新興モダン鉄温殿営果然補都の視

持つて便順へ避った。

旅情集

八木沼丈夫

機服の今日は門

紫原と別の心で

間もなく使が、左衛門の参配を

左衛門と黒住敞八郎の密談であ

三ヶ日線飾るに

き材情に朝づく光

脏にひかれぬ

として地にありにけり

(日曜王) 大道殿御襲所の日謝書と防します。くれば庭機順進だ、配ことで、「神やかて、「神中から取り出したの」とは必ず歌くと思ふがどうだらう。 それも考へぬでは、柳を輝いて先を削つた炭銀だ。 表を来るか裏を来るか、それは判例の懸御の除台にさらくとゅき らないが、とにかく歌くこれをつり書。 さへくれば庭機順進だ、配ことで加へた起り書。 さへくれば庭機順進だ、配ことで加へた起り書。 さへくれば庭機順進だ、配ことで加へた起り書。 株に悪ばせて、お秀は再び顕微 を 大のし、風の酷―― ・大路、大のし、風の酷――

でございます」

でといけられ

緊脳の群へお腰盤の名

明 四 季 亭 原産の解ひ 一春

あ解い

出初式對入ほどの晴れ委

にもその後の才野はあらう――何

助一人、誠は二人」

回禮へ下女の氣轉よ

のれ

カルタ取りあの

天蚕へマ長命の屋

A

341

满

裏庭の屋形の下に立ってゐるのと思った。

とによ、一本のと、原動に親を いのをできる。 時には、一本のとかり質大なものをできる。 おいのである。 は、一本のとかり質大なものをできる。 は、一本のとかり質大なものをである。 は、一本のというである。 は、一本のというでは、一本のとい こう四つに折つたのを展いて見ると、初めに「顕著」と書いてあると、初めに「顕著」と書いてあ

ったし

できょうです。おがは少しも疑は、 できゅうです。おがはかったではないかった。 おねしの の私室に二つの頭が寄りあつて、

やらです。が、あれを受取って が、思ひかけぬ手輪と喜んである

お薬紅く類をめにけり ちる液む気や石階のぼる し悩となりてもえにけるかも 金閣寺

脱はつはつ晋立ちて見し。

松の内臓同志も美顔なり 大連 夢 阜 緒 大連 夢 阜 緒

大連治療院

大印の

獨特の風味を誇る

●空氣銃大費出し網速へ未ル高級空気銃 が進号では大費出し網速やネル高級空気銃 大阪市東級内本町一丁目 東層BS A新輸着 名聲萬里を往 天馬空を郷

(四)

安

(214)

平

事質山のお秀だつた。これた女は、 そして、話はその明くる日の朝 流二五 次原すき次第、どうぞお選りなさ

母國に近く

くれ」 くれ」 を振って、 鳥目 を振って、 鳥目 「さうかね、ではこれへ下してお

お秀は立止って、何だらう

要り職をたてながら行つてしま

なやけく途々きこゆ さやけく途々きこゆ 整株木の山しづまりてが照れる紅 整像木の山しづまりてが照れる紅 がの木鞭並み立つ山のましづかに 呼吸づく透野見つるかも でを在もちごかす

至6名會社藥品部

副業又妙

世間に吾常かむとしが悪のゆ 幻住庵途上 TREDE MARIL

610BATA

(説明書を請求せられよ) ★III回の申1750 ★1700 各都市に六一のバスハツブ寅物宣傳浴塔あり 業満を開始し又は變更せんさする方は御申込か乞ふ 乗満を開始し又は變更せんさする方は御申込か乞ふ

登録商標に明注意かどと



を ならない を ならない を ならない

確信して長くとも能き起航を貸しむべき間るべき時の来るべき事をむべき間のべき時の来るべき事を

が充分に之を理解しないでも何の

ある、者は亡び梅ぶ者は興る、我 変の融合は生物生存の原理である である。

日浦野縣に於て注意すべき翻巻なる最近の傾向は近年日浦野縣に於て注意すべき翻巻を貫しつよるるに抗らっず更勝人の手に依つて改善取形がられて、大阪勝軍事である、施職にして供る事業の立場を進だがらいた。

他の列强は依然協調す

ルス臨時駐日大使は<mark>収外</mark>独省とロールス臨時駐日大使は収外独省とロールスの場所を

同情

る反跳の態度を持し過鏡園民政府」に至る変にアメリカの加きは最も顕硬な「輸送ので日本は関係会に同一歩脚を探り」ものトラシス、イタリト、オランダ及「関民政

米國通電を突返す

【北平三日設置】治外法權抵歐通

【北平二日發電】 領事裁判機撤配

は日本を中心に行ぶ職様であるを賦助すべく本年の各圏野支外交を賦助すべく本年の各圏野支外交を賦助すべく本年の各圏野支外交を開助すべく本年の各圏野支外交を開助すべく本年の各圏野支外交を開いた。

か軍縮兩全權は

英外相と會見

マ首相の會見せざる事情を

米國局長より陳辯

接助する館で本年のアメリカ野で大学のエンソン全使の野安外交を 關係各國は 英に注目

く而して目・國民政府と佛支安南 一致南京へ向つたが國民政府との 一致南京へ向つたが國民政府との で設南京へ向つたが國民政府との 概然所は 一日朝八時登で南京へ向った、公 二日朝八時登で南京へ向った、公 一日朝八時登で南京へ向った、公 がは近いがに國民政府と継事総判 がに国民政府と継事総判 を破り で東京で東京へ向った、公 で東京で東京で東京で東京で東京で、 で東京で東京で東京で東京で、 で東京で東京で東京で、 で東京で東京で東京で、 東京で東京で、 東京で東京で、 東京で、 んとする質めでい よりかであらば首相は何時にてもと動見せぬ事骸を験職し若腿全閣とグロブナーへウスに脱りでクドナルド首相が帰全閣とがロブナーへウスにありまりがある。

外交は一新すると

關係各國が抗議

不の態度著しく硬化

支那交涉員廢止 満洲は除外 日本は地方政府と折衝方針

版 学外和が會見するに決定した。 学外和省にて賦全版とベンダーソン外 は、大いと申し出た其結果午前十一時 は、大いと申し出た其結果午前十一時 は、大いと申し出た其結果・一時

マ省

中旬頃會見せん

マ首相休養中のため

『北平特電三日妻』 治外法閣階解官師の賦明に繋しイギリスのラムプソン公使は11日朝王正廷氏と打るととに決定した殊にアメリカの態度は著るしく硬化してゐる師との抗難に動し列國は欺欺にて各自るとに決定した殊にアメリカの態度は著るしく硬化してゐる師との抗難に動し列國は欺欺にて各自るとの決定した殊にアメリカの態度は著るしく硬化してゐる師との抗難に動し列國は欺欺にて各自るとのため北平を出發し用意へ向つた。

告された但率天、吉林、哈爾賞の 一號の外交繁件は外交部の直接収 後ひとなすべき官各地領事に通告 かり二日はそれる一合会使館に報告

ド首相が常規全権と合 てイギリス新聞

不平等諸條約は 總て本年中撤廢 王正廷氏記者に語る

| 上海三日發電|| 王正廷氏は三日 年後一時内外新賦配者六十名をマ ゼステックホテルに揺揺し左の如 き演説をなした

**動軍を一** 

氏政権を握るか

鄭州に到着した閻氏

唐西北兩軍を傘下に收めん

日午後九時何成神、

附屬地行政權の 移管問題を協議 

編集版では四日午前十時代より食・育安議するところあった を配長出席の上雅て満州行政教教 郷で右覧行に吹いてはそ 各既長出席の上雅て満州行政教教 郷で右覧行に吹いてはそ を取長出席の上雅で満州行政教教 郷で右覧行に吹いてはそ を取るとされてある州外浦 の解除版はれるも強から けふ関東廳會議室

るであらう良ひは政権の變受となを如何にすべきかといふ問題とな

河南田崎の郷に驚き昨日間氏に宛思谷まれる原生智氏は河畿山氏の馬生智氏は河畿山氏の

着任期各課長

(日曜土)

對支外交を一新

駐日支外交官が協力

滿洲貿易で日滿貿

りに於ても恐らく大七千萬國を超

大藏大臣

井上準之助氏試筆

易の大勢を顧みて

內務局長 神田 純

来る。この努力を失い 機比の利益は常に耐立 来る。この努力こそが 智軍の討伐を行ふ一方絵画泉、純しと打電した『北平二日要常』闘総山氏は唐生 後兄の命 政権授受か

**退寧省政府主席** 滅氏就任式 けふいよ (撃行

新田開東蘇敷和既長御影幽院雄氏 大曜のうらる丸にて管連中後一時 五十五分談叫着の街、協者田保安 田十五分談叫着の街、協者田保安 大田 大曜のほんこん丸代船

九で社伝の響であるが七日午向九大で社伝の響であるが七日午向九 既長田中総職氏の数途運命を開催。 大連民政戦前地方既長吉野ペニ維 前十一時より吉野氏及び新伝地方 前十一時より吉野氏及び新伝地方 一時は五日十二時四十分家族を引駆所 が、果臓同窓組合。 で同日午 で同日午 であるが同談所 三浦氏の赴任期 課もなく、検水も出ぬ。

校技に励も飛ばず暮れんとす。 格不熟飲、悟つて見るも悪くは 天無豫

(五日)西の風哨

生死を大悟して職定してるただけ あつた。惟いの んだり、生きたり、自動の表現す

**恒式及初〇智識**三冊

作法婚禮式及初〇智識

世出戦の566丸にて上京の海定 太田関東長官は顕動出艦のため八 東京の東京

及び市役所に於ても夫々櫻井局長 及び市役所に於ても夫々櫻井局長 とり織物あり、何れも除 は事務の 整理を行つた、又大連水 は事務の 整理を行った、又大連水 は事務の 整理を行った、又大連水 は事務の 整理を行った、又大連水 は事務の 整理を行った。又大連水 は事に 製造 一同製合 中尾製長から

藤田氏の謝電

貴派を通じ在満日華人各位に宜各位の伽健康と御幸福とを祈る

開東職では四日御用艦めにつき太 田長官は午前十時長官廳鍍岩にお 田長官は野田・野田・町の臘示

開東廳の御用始

方移権者と記れ

の機器を相互に交換して十一時前 (各職で年質駅のより分けや年齢 く各職で年質駅のより分けや年齢

大蔵理事等の難も見えず重役隊長満九段通から初出職、大平職艦戦 補緩の御用船めである四日は全社

満鐵の御用始

小孩までメクシーで来るため、沸電の電車名乗らずして全部勢メクシーRL映明の結果あらゆる方法で答をよど。修賞屋の御用

五昭年和

一本の手間で助かる

他の有名なる美神丸を聞きながら知りながらまだ色々と迷れのは質に気の表……又可哀想でならない。 一球使つて治られば其原因は

大日本電療哪

普通の豫定である

き同地官民と年頭の旅授

典へた草根本治ります。

今年は治る

一十三日の窓下十七度より頭に二度の懸さである

**帯局で計つた場頭の温度は三日午前四時零下十九度、四日午前四時零下** 

大連港防波堤内氷結す

御儀

歌正塾で午前九時四十分振舎に熊珠するや古雅な神樂歌の奏せられる種、肥かに倒襲は掛かれる本多恵り谷墓族、東郷、山本剛大鵬位、震口官祖、熊富福府勝長、元帥、谷大臣、勅任官、同称選は大郎り行はれた。この日三殿は低に鬱緩既蔵の滟蜒であつた、歳列の狭父宮、同妃、高極宮三殿下を始めり伊はれた。この日三殿は低に鬱緩既蔵の滟蜒であつた。歳列の狭父宮、同妃、高極宮三殿下を始め「東京神堂皇教】三日は宮中元帥祭につき宮中野所皇霊殿戦殿では午前十時から殿かな御祭典が教「東京神堂皇教」三日は宮中元帥祭につき宮中野所皇霊殿戦殿では午前十時から殿かな御祭典が教 きびしい寒さ 境であつた、急列の秩父宮、同紀、高松宮三殿下を始め宮中野所島霊殿神殿では午前十時から概かな御祭典が執

> 疑二時まで低、子、男の各有能者融佛各級管長以下有政権者の暴拜を感許された 新春をお迎

を始め参列総員の非確あり再び突襲機に撤職して同十時五十分得祭兎を終へさせられ、倘正午から午一木宮相、絵木侍從長其他の供奉で出御、蟹所より蝦夫三殿に爾拜職あらせられて入側、大で各泉族勢する、これよりさき天皇陛下には繊維版に渡拂戴権楽御献の柳東藍に勢を戦らせられ、林式部長官撃風大長の寒仕で海、山十豊瀬の戦闘監験を従へ奉り、大いで九條撃飛長内縁に進み悲火しく戦闘を撃風大長の寒仕で海、山十豊瀬の戦闘監験を

次いで九條掌與長内壁に進み芯人

大しく が 大で 谷泉族

元始祭の御儀に御親拜

【東京三日發電】皇太后陛下には久々にて御裏明けの新鮮を御 で、させられたので、三日宮中 で、一世の大郎において、天皇陛下御親祭 の元給祭の御傷に御親拝あらせ の元給祭の御傷に御親拝あらせ

の新春の御祝詞を受けさせられた。北白川宮永久王、麒香宮昭久子女王楼等未成年の新春の御祝詞を受けさせられた。北白川宮永久王、麒香宮昭久子女王楼等未成年の新春の御祝詞を受けさせられた。なほ離下には

大連総財政脈内一種は連日の題さのため遂に三日夜中に殆ど全大連総財政脈内一種は連日の題さのため遂に三日夜中に殆ど全大連総財政脈内一種は連日の題さのため遂に三日夜中に殆ど全大連総財政脈内一種は連日の題さのため遂に三日夜中に殆ど全

沙河口市場に 入組强盜

財布を奪って逃ぐ

正面衝突

撮影中の椿事

目出度い

初

つ春に

死を急ぐ世棄て人

歌の観ぎを他所に死を求める人々が多い――比く屠滅にも耐へぬ裁無く、師起から堪へに堪へて特越した鬱憤に身の造り場なく屠衆出度しく、の正月三日にも失張り吹荒ぶ生活苦の冷たい風は容界出度しく、の正月三日にも失張り吹荒ぶ生活苦の冷たい風は容明和五年の寒明けて人は老若世を奉げてお屠滅に無哉長裔を移ぐ昭和五年の寒明けて人は老若世を奉げてお屠滅に無哉長裔を移ぐ

借金を苦に

故澤正の先妻

渡瀨淳子死す

桃代、正太郎の二見を遺し

一日の朝、脳溢血で

ール自殺

失興者の死、借金を苦に

止月氣分が癪に障り

出双ブ

て割腹

月も越されぬを苦に悩んだ部果。 生命に別緘無し、原因は借金に正 生命に別緘無し、原因は借金に正 が表してリゾールを繋下し自

と別れて以来観座観にジュン、パー・「東京三日被電」が澤田正二郎氏

胞へ出議時の厚意を跳す資本日入時三十分大阪に上陸したが、推揮時三十分大阪に上陸したが、推揮時三十分大阪に上陸したが、推揮

職代群)は四日午前四時ごろ自宅

屠蘇機嫌の無職

満洲界にとり

千百二 預金に出かけて落す

正六位

八五四六番

本 「東京四日發電」提き通では三日 た 外表した元商議書館和生由太郎氏 に転した生前の功勢を見召され左 の如く御沙汰あらせらる、由 で大位動五等 相生由太郎氏 故相生氏に

新年御芽出度ふ御座います

連着名言

サクラビー

櫻麥酒 株式會

尚本年も不相變御愛顧の程偏に御顧ひ申ます 舊年中は格別の御引立に預り難有厚く御禮申上ます

大連市磐城町

電話五二〇七番

**満壽屋モスリン店** 

尚本年も不相變御引立の程御願ひ申します。舊年中は格別の御引立に預り難有御禮申上げます

人連市信濃町吉野町角 辻山洋行新聞部

電話七四八五、七七三一番

| 「東京三日発生」わが代の概を終|| 時近くに内着末官概念之軸氏ほか | 「東京三日発生」わが代の概を終|| 時近くに内着末官概念之軸氏ほか | で一日の | 本教に宣脈の方が | で一日の | 本教に宣脈の方が | の方が八十枚近 | で一日の | で一日の | 本教に宣脈の方が | の方が八十枚近 | で一日の | で 日の |

どにらい緊縮風

氏の名

間の元旦の快

月風にわが身のや雪を製液なんだ 関人は身帯もなく世間の寒しい正 関人は身帯もなく世間の寒しい正 関大は身帯もなく世間の寒しい正

ふ脳溢血再發して遂に逝く

のが満洲財界の重鎮

由太郎翁

本書書 明の分配 本書書 明の分配 市内小戦機十三校の見識の事格に よる機大災を各種無事数機 監に で称小戦機・重まった側を取職的に で称小戦機に重まった側を取職的に で称小戦機に重まった側を取職的に が、三日もトラック二端 でない、三日もトラック二端 でない、三日もトラック二端 でない、三日もトラック二端

時、大阪大戦利の吉鞭を目出度く

事心病を養つてるか 事心病を養つてるか かられば、 はしてより市内病が を養ってるか

で一日の 年間の「各種は意味の方が入土校近」

僧守であつた

電車体留所において宋だ停車せ 一つらは二日午後六時十七分常盤 市内お狭町七四廿ポ子木工村後渡

(日曜土)

矢ツ張り自動車事故が第一位

家屯に向ふ途中、伏見町十四番地家屯に向ふ途中、伏見町十四番地京山田灣(二)に来客二名を乗せて課いの六三番地日本棚タクシー運験氏町六三番地日本棚タクシー運験氏町六三番地日本棚タクシー運験氏

能の出象を以て戦闘を失き刺し苦 市内内通り第二野和ピル三陸第三 市内内通り第二野和ピル三陸第三 市内内通り第二野和ピル三陸第三 中では二日正午

地階級升集欄氏(Tab)は二日午前五地階級升集欄氏(Tab)は二日午前五地階級升集欄氏(Tab)は二日午前五

大崎の火事

淳子は故郷正との概要行進服以来 を被つて泣きの別職を惜しんだ。

「東京三日製電」三日中前十時三 大田の東京町下大崎町高田銀工所 はり強火、郷も同工場を全郷した を全が銀し十二戸を出し同十一時十分 で、郷の日家並に獲道官舎に が、一時は大麻酔店 で、一時は大麻酔店

生前常に登場なるう

元日から既に七件

定中の市内

三日午前九時頃市内日新橋、香地大安タクシー貨物自動車運輸手飛大安タクシー貨物自動車運輸手飛大会地地大学路

三百圓の損害を蒙つたが乗客には

まお展離をよばれた微解機能に他ってのこの内容。

には別郷ないが同人は飛らくし次食に難してをり、

灰巳旅館で

フラン

果敢んだ男

. . .

**路蘇氣分漂ふ街に** 

新藤千秋方山本サダメCもの人力 車に衝突し、サダメは治療数十日 である負傷をなした

おめでたらの お客も半分 濱口さんの官邸に迄徹底した

ないといふことでコ、にも強口内 はの緊
が表しての終
が表にしてゐる、併 大全國の家の子、耶然が感動を見 え全國の家の子、耶然が感動を見 よことで洗石代験十面質だけに抜 かりはない、首相秘書官戸口由実

ごろ同能居間に於いて潔に級を継郷田養大郎(こ)は三日午後十時

皮調査會の職を程て

保管中類含みを呈してるた本 銀價の暴落で

を引着者 10人 10人 10人

病奏効顯

政上の歌曲に由

を避けて協調に入るを喫緊事とす

ので地域砂点以上の銀安林の高値を流

金融機關

の整備

在滿邦人の

自覺が肝要

安田銀行頭取

森廣藏氏

は如何一度思ひをこゝに到さば風湿が表徴した場合の我國の位置で表徴した場合の我國の位置で表した場合の我國の位置で表した場合の我國の位置で 見三吉氏

文は香は日米(電報不譲) 未日は 「一と十六分の一安」と何れ當市 場開始以來の新安値に低落した。 四十六仙人分の三と(四分の三) 大分の七安)ニューョーク級域は十一片十六分の五と(十六分の七安)ニューョーク級域は

婦女界推獎春の象徵半襟賣

田

小牛

小間物 十一世

屋

居本生命保險株式會社大連出張所 所為生命保險株式會社大連出張所 所為生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 常盤生命保險株式會社大連出張所 大同生命保險株式會社大連出張所

生命保險同業組合

小大 見人 用用

新

平陽

松

良

平

渍

本高 工 月 東 東 五 二 十 末 二 十 末 二 十 末 二

る魔が鬱し甚

痛經神スチマウリ膜腹クマクロ肺

早

子

囘主演映畵

高凑岩服田 月部 活明孔静

吉子雀夫

演助

再建時代の遠風のなか

天保水滸傳

作政権宣

1

4

(用位置) (用位置) (用位置) (用位置)

サ浸透 試棄にて効果判然す に治る 序法 手二枚)對入 にあり。

病は婦人の手で 婦人醫院 永

夫となり、心にもなき生活に関

朝日新聞連載



握の 構 ~

商店 戲福昌公司自動車部販賣所

電話六四二 。院

大連市 一根岩 眼性

の供給力を凌駕し弊店も常に品薄勝の處今日新人荷各種品揃品切中のマガレットオーバ御案内般然人気マガレットオーバ衛案内般然人気マガレットオーバ新荷着 日本各 年新 味美の上卓 8 熱傷の 地名産 東京風菓子謹製 图 葡 酒 かの 1 の三 類 端バ 黑杯 2 珍 子黃漬 酒酒 料  $\sigma$ 000 15

**友**親唐 人减泽

がいる。 がいっても御利用下さい がいっても御利用下さい 大連案内所 銭 歌舞伎座の 一萬圓。ダイヤ ? 伐座

E **化器**西

大日封切!! 見られる! プリムス・其他各種

格安中古品在庫 油油 稻 大連市著族的三番地位 垣 幸 夫 郎

車 0 自 大油田山 支店 B ケンネット 號ナ 本本店 , il 1 ス

默

(216)

時にされてゐて、翌明都屋の清め であたが、それは既内でも網動砌 であたが、それは既内でも網動砌 であたが、それは既内でも網動砌

助一人、或は二人」

回禮へ下女の気

た裏があつてよいわけだ。おねした裏があつてよいわけだ。おねし

つて始めて、昨夜はこと

でて二三十人等んでおくか」 でて二三十人等んでおくか」

新年御殿一銭五開

大盃へを長命の

三ヶ日娘飾るに

持つて使順へ起った。

旅情集

お黄玉座数で穿 理権へ舌の廻ら

言るほん

間もなく使が、左帯門の響面を

規體のフロック自

となけられ

紙・光 春

あかり、子

名聲萬里を往

天

馬

空,

を

貅。

铜

とに納み止めて、人の類壁に気を 時には、一本の塵から 軍大なも 時には、一本の塵から 軍大なも お秀は文止つて、何だらう 寒塵の最形の下に立つてゐるの をやつてゐると、質新

副業又妙

を類対事用にお酬を売された。 に十副以上の支出となったは、 されは寒中にもほこと すれは寒中にもほこと

製造

大印の

醫治的効果に優る

「一体に記ばせて、お客は再び動却」間に想像いたしてゐる以上の人物」は、「脚を擦いて先を削った炭銀だ。表を來るか。それも考へぬでは、一本がて、「嬢中から取れ出したのとは必ず動くと思ふがどうだらう。とれる考へぬでは、「さったらら」とは必ず動くと思ふがどうだらう。とは必ず動くと思ふがどうだらう。」とは必ず動くと思ふがどうだらう。」といが、あれを受収ると、動くと、動くと、動きを來るか。 をして、話はその明くる日の朝 事實山のお秀だつた。 殿の十七日、東の鉄・十八日、松松の十七日、泉崎の十六日、柳巻」と書いてある。歌の郎は新しかつた。十三日、柳巻郎、十四日、藤の十七日、泉崎の十六日、柳巻 話はその明くる日の朝 流〇五 『エーおぞうい、おぞういー』 賣りの男、無難作に動を物に負っ 小門へすらッと見込むと、草腹 が関いました。 くれ」 は一足の草腹を収った、鳥目 を続って、 ではこれへ下しておって下さい」 と地に落ちにけるかも 横半洗の水もあらさりにけり 様の髪の大き様の髪陽に乗みて後 がさかる大原の里に構製れて水管 整数木の山しづまりて夕照れる紅 整数木の山しづまりて夕照れる紅 業上里は稲黒れにけり 呼吸づく 凝吾見つるかも 常総木は群山守りて山祇の鸚闹ま 母國に吾瘡かむとしが悪のゆゝ 松の内敵同志も美額なり、松の内敵同志も美額なり、大連新大連新大連新 お乗紅く頼そめにけり 翅體のフロック自動車でと 大 連 凡 ちる役む氣や石階のぼる。並び立つ愕ますぐなり答むして著 もみぢ葉に夕陽さしつゝ見のゆゆ 戸あくるに軽重人し間後の京のな雨はいまは礼にけり 乳に踏む土したしさよ不安の都の 幻住庵途上 母國に近く 夢具緒 太 = TREDE MARK 發賣元 武藤紅合名會社藥品都 610BATA (説明書を請求せられよ) ANNO #1780 ◆1、00 系譜を開始し叉は變更せんさする方は御申込を乞ふ系譜を開始し叉は變更せんさする方は御申込を乞ふ REGISTERED

◎空氣統大費出し頻繁ながれた 赤鼻 1 大阪市

の裏の小門へ出た。小門を離つ、木監傅・ちう來る時分……」

はそとして地にありにけり 温暖ける高麗の郡に目さめたり赤。

版を一起、版かけの

しまづ棚牛は畦にひかれぬ

社會式株菜製禾森

大連治療院